



2023 年 7 月 25 日
神戸国際大学 キリスト教センター通信
第 95 号



「見えるもの 見えないもの」

キリスト教センター長 ミカエル 藤倉 哲哉

イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」(ヨハネによる福音書 20 章 29 節)

小学校や中学校の同級生のなかに、私が牧師の子供であること知りながら「自分は神様なんか信じない」とか「おれに神様を見せてくれたら信じてやる」と吹っ掛けてくる悪ガキがいました。

“Seeing is Believing.” 「百聞は一見にしかず」と言いますが、たぶん(?)誰にも神さまを見せることはできないし、私が見せて彼らに信じてもらわなければならない借りもありません。私は「お願いだから信じてくれ」ということもなく「またこんなヤツが出てきた」と反論もしませんでした。

形があるものや実際に見えるものを信じることは簡単ですが、見えないものや見えないことを信じるのはなかなか容易ではありません。一方で見えるものがあれば、残念なことにそれが例え偽物やイカサマであっても簡単に信じてしまう現実があります。何かの粉飾に惑わされて過大な宣伝を適正な評価と受けとめてしまうことも少なくありません。怪しい団体に足を踏み入れて抜け出せず、詐欺や献金で財産を失ったり、人間関係を損なったりするのはこれらが原因です。

お彼岸の墓参りに行く人も、正月は必ず初詣*に参る人も、クリスマスのパーティーを楽しむ人も、そして無宗教だという人も、私たちの多くは我が家の宗旨についても、その他の宗教についても、そもそも宗教については知らないことのほうが多いものです。しかし、深い信仰をもつと自認していなくても、多くの人はお盆やお彼岸また命日や誕生日**には亡くなった家族や友人のことを思います。

「宗教なんて要らない」「宗教は怖い」「宗教を信じるのは自分が弱いから」

みなさんのなかには宗教というと難しくて近づきたくないと考える人や、他人事(ひとごと)だから関係ないと思っている人がいるかも知れませんが、このように私たちのとても身近なところにある問題です。信仰とは神や仏などの対象を神聖なものとして崇(あが)め、究極の価値となるその教を拠りどころとして全人格的に関わることをいいますが、実は普段は意識をしていなくても「どう生きていくか」と極めて素朴でかつ重要な人間の本質を問いかけています。

* 初詣は神道や仏教に限らずキリスト教会でも新年の礼拝を献げる。

**外国では命日より誕生日に墓参りをすることがある。

ひとくちメモ 「絶対だれでも知ってる・・・“祝福”」

「祝福」はアニメーションやライトノベルなどからも広がっているようですが、日常では「周囲の人びとに祝福されて結婚した」などと使うことがあります。この場合は「おめでとう」とか「よかったね」というだけでなく「この先しあわせがありますように」という意味が込められています。英語では「祝福する」を“Bless”といい、“May God Bless you.” は「神のご加護がありますように」となります。牧師をはじめ聖職が信徒のために「神さまの祝福・恵みがあるようにお祈りします」という趣旨で、もちろん祝福を与える、恵みを下さるのは神さまです。



ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。



ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教

A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り（カード）日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF
神戸国際大学キリスト教センター

